

祥明大学校短期研修報告書

環境共生学部 3年

齋藤 美京

私は今回祥明大の研修に、韓国語を学ぶだけでなく、韓国の文化を体験し、視野を広げることを目指して参加をしました。また、ボランティアとして、祥明大から熊本に研修に来た学生さんたちと交流し、仲良くなったため、研修に参加することで再開したいと考えていました。実際に参加して、様々な経験をしたので、その中で特に印象に残ったことを三つ報告します。

一つ目は、韓国語を学ぶことができたことです。祥明大の学生さんたちと韓国語で話す機会がたくさんあったため、アウトプットを実践することができました。知っている韓国語はなるべく使うように心がけました。また、学生さんの中には日本語が話せない方もいたので、一生懸命韓国語でコミュニケーションを取りました。学生さんたちが話す韓国語でわからないことや、韓国語での表現がわからないことがあったらその都度教えてもらい、メモを取ったので、新しく単語や表現を学ぶことができました。教科書や授業で学ぶより、実際の経験の中で覚えたことのほうが、身に付きやすく忘れにくいと感じました。

二つ目は、韓服を着て景福宮を見学したことです。韓服は、日本の着物のような伝統衣装というイメージでしたが、体験で着るものは簡易的なものになっており、とても簡単に着ることができて驚きました。そして、韓国の歴史的建造物である景福宮を見学し、歴史や文化に触れることができました。歴史的な儀式を再現するイベントも見ることができました。



三つ目は、様々な韓国料理を食べたことです。私はもともと韓国料理が好きで、大学では食について専攻しているため韓国の食文化に興味がありました。今回の研修で、サムギョプサル、ビビンバ、冷麺、ソルロンタン、ホットク、タッカルビ、キンパなどのたくさんの韓国料理を食べることができました。本場で食べる料理は別格においしかったです。祥明大の食堂でも食事をすることができました。また、料理にキムチやナムルなどのおか

ずがついてくることや、食器が銀色であることなど、日本とは違う韓国の食文化を知ることができました。

以上のように、今回の研修で韓国語を学ぶだけでなく、韓国の学生とコミュニケーションと取ったり、韓国の文化に触れることができました。それにより、今後はより一層韓国語の勉強を頑張ろうと思いました。また、育ってきた国や文化が違う相手と話すことの楽しさを知り、今後も育ってきた文化の違う相手と積極的にコミュニケーションを取ろうと思いました。

